

第1号様式(第8条関係)

補助金等交付申請書

令和5年 4月 14日

(宛先)
戸田市長

申請者
住所又は所在地 [REDACTED]
氏名又は団体名及び
代表者氏名 TODArt. Labo
会長 細井 玲那 [REDACTED]

戸田市補助金等交付規則の規定により、次のとおり申請します。

補助年度	令和5年度	補助金等の名称	戸田市共創のまちづくり補助金
補助事業の目的及び内容	芸術による教育の場と芸術家の活躍の場および市民が芸術に触れる機会の創出		
補助事業等の効果	芸術による教育の場や芸術家の活躍の場を提供することにより文化芸術の発展につながり、芸術に触れ体験する機会が増えることで市民の感性や審美性、想像力や創造力の向上、他者とのコミュニケーション能力など豊かな心の育成につながる。		
補助事業等の対象事業費			364,487円
補助金額			160,000円
補助事業等の着手年月日及び完了年月日(予定)	着手	令和5年 4月 1日	
	完了	令和6年 2月 19日	
添付書類	1 戸田市共創のまちづくり補助金応募用紙 2 見積書等 3 2023年度の団体の事業計画書・収支予算書 4 2022年度の団体の事業報告書・収支報告書 5 会則 6 構成員名簿		

5年 4月 14日

戸田市共創のまちづくり補助金応募用紙（単独、団体協働事業補助）

(宛先)

戸田市長

団体名 TODArt. Labo

代表者職・氏名 会長 細井 玲那

所在地

補助種別	<input checked="" type="checkbox"/> 単独事業補助 <input type="checkbox"/> 団体協働事業補助	
新規・継続	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 継続（2年目）
事業名	公園アートプロジェクト	
実施期間	令和5年 4月1日 ~ 令和6年 2月19日	
確定前交付の希望	<input checked="" type="checkbox"/> 希望する	<input type="checkbox"/> 希望しない
申請中又は交付予定の他の補助制度	名称	
	実施主体	
連絡担当者	氏名	
	住所	
	電話	
	Fax	
	E-mail	

《団体の概要》

団体名	TODArt.Labo (トダアートラボ)
ホームページ	https://todartlabo.wordpress.com
設立年月日	令和3年 4月 1日 設立
会員数	10人
年会費	1,000円 / 1年間
団体の目的	戸田市内において芸術による生涯学習活動の推進を行うことにより、創造性や豊かな心を育むまちづくりを目指すことを目的とする。また、芸術家の活躍の場と市民が芸術に触れる機会を創出し、市内における文化芸術の発展を目的とする。
主な活動実績	<p>令和3年4月1日 団体発足。</p> <p>■紙コップインスタレーション</p> <p>令和3年9月4日(土)、5日(日) 場所：上戸田地域交流センターあいパル 主催：上戸田地域交流センターあいパル 企画・運営：トダアートラボ</p> <p>令和4年3月12日(土)、13日(日) 場所：上戸田地域交流センターあいパル 主催：上戸田地域交流センターあいパル 協力：トダアートラボ</p> <p>令和4年7月24日(日) 場所：戸田市新曽南多世代交流館 主催：戸田市新曽南多世代交流館 協力：トダアートラボ</p> <p>令和4年9月3日(土)、4日(日) 場所：上戸田地域交流センターあいパル 主催：上戸田地域交流センターあいパル 協力：トダアートラボ</p>

	<p>■公園アートプロジェクト</p> <p>令和4年11月19日（土） TODArt. Park VOL. 1 場所：新曽沖内なかよし広場、新曽小玉緑地 主催：トダアートラボ</p> <p>令和5年1月7日（土） TODArt. Park VOL. 2 場所：大前緑地「こどもの森」 主催：トダアートラボ</p> <p>令和5年2月12日（日） TODArt. Park VOL. 3 場所：新田口公園 主催：トダアートラボ</p>
<p>昨年度の補助金等の援助状況</p>	<p>■公園アートプロジェクト</p> <p>令和4年度戸田市共創のまちづくり補助金・単独事業補助（新規）</p>
<p>団体PRなど</p>	<p>アートをとおして、戸田市民の創造性や豊かな心を育み、戸田市のまちづくりに資する市民活動団体です。</p> <p>芸術家が中心となり、市民とともにアート展開できる強みを有しています。戸田市内の様々なリソースを活用したアートプロジェクトやアートイベント・展示会を企画し、将来的には大規模な芸術祭を開催して地域の経済活性化にもつなげていく計画です。</p> <p>令和3年、戸田市で初めて紙コップインスタレーションを行い、子供から大人まで一緒にアート体験できる場を作ることから始まり、令和4年、市内の160個の公園を舞台に、公園をアトリエや展示会場にするコンセプトで、戸田市民とアート展開していく公園アートプロジェクトを始動しました。戸田市民と一緒に創るアートとともに戸田市の魅力を世界へ発信していきます。</p>

《事業企画書》

1 事業の目的・必要性

戸田市の大人から子供を対象に、市内に160個あるといわれる公園を舞台に、毎回公園の場所を変えてアートイベントを行い、アートに触れる体験を創出します。公園が、アトリエ（制作場所）となりギャラリー（展示会場）となることをコンセプトとし、アートによって普段とは違う公園の景色に変わり、市民の方々と新たな公園の魅力を創っていきます。また、他地域へ戸田の魅力を知ってもらうため当団体のInstagram・Twitter・YouTube・公式LINEなどのSNSを使い発信していきます。

大空の下で生まれるアートは日常とは異なる創造性を発揮し、そこで生まれるアート空間を共有することで、大人から子供と一緒に楽しみながらアートを通してコミュニケーションを取ることができ、相互の新たな発見や気づきを与えてくれます。

公園は街中にあることから、近所に住む方やたまたま公園に遊びに来た方の目に触れやすく、参加者が創り出すアートを身近に感じてもらえるようになり、地域コミュニティの活性化にも繋がります。

2 事業を実施するに当たっての現状や課題

昨年度、3回行った際、公園の現状復帰のための養生貼りなどの設営に時間と労力がかかり十分な養生ができず公園を汚してしまいました。また、設営に時間が取られて準備が開催時刻まで及んでしまったこともありました。そのため、養生などの設営は慣れているプロの方に依頼することにいたします。

運営体制は、スタッフ20名ほどで行ってききましたが、それでも少ないと感じております。より地域の方との繋がりを強化するためにも、使わせていただく公園の町会との連携を図り、列整備や安全見守りなど運営スタッフとしてお手伝いに入ってもらえるようアプローチしたいと思っております。また、事前に設営などのお手伝いを募集したいと思っております。

開催日について、メンバーや参画者の仕事や家庭の事情で予定を合わせる事が難しい状況ではありますが、少なくとも5つの内容が実施できるよう調整し、運営側の実施体制を整えるようにしたいと思います。また、参画しやすい事業の環境づくりも意識して行っていききたいと思います。

屋外イベントのため、参加率が天候（気温）に影響することが分かりましたので、出来るだけ参加しやすい気候を選び開催日を設定したいと思います。

3 事業の具体的内容

市内の公園の中で、1回のイベントで1つの公園を選定し、アート内容を5つ以上展開しながら、トダアートラボ会員や活動に賛同してくれたアーティスト、また美術講師がファシリテーションを行いながら、参加者にアート体験、また一緒に制作をしていただきます。制作したものを公園に飾り付けて普段の公園とは違うアート空間を作っていきます。

今年度、TODArt.Park VOL. 4、VOL. 5、VOL. 6の3回の開催を予定しています。

<使用する公園の候補地>

- a. けやき公園 TODArt.Park VOL. 4 予定
- b. 中町公園 TODArt.Park VOL. 5 予定
- c. 芦原たんぼ公園 TODArt.Park VOL. 6 予定
- d. 圃中公園

開催時期や近隣地域の事情により変更する可能性があるため、都度、みどり公園課に相談しながら開催場所を決めるよういたします。

また、雨天の場合は中止・順延をします。

<対象>

市内の子供～大人

<参加費>

500円/人

※未就学児は無料とし、必ず保護者同伴とする。

■親子割引

親1人＋子供1人(500円＋300円＝800円)、子供1人追加ごとに＋300円

親2人＋子供1人(500円＋500円＋300円＝1,300円)、子供1人追加ごとに＋300円

親1人＋未就学児(500円＋無料＝500円)、小学生以上の子供1人追加ごとに＋300円

親2人＋未就学児(500円＋500円＋無料＝1,000円)、小学生以上の子供1人追加ごとに＋300円

当日公園内受付にて、参加費と引き換えにチケットをお渡し、チケットを持っている方のみ参加できるようにし、見学者との棲み分けをする。

<周知方法>

下記媒体を中心に周知を行います。

■インターネット媒体

Instagram <https://www.instagram.com/todart.labo/>

FBページ <https://www.facebook.com/todartlabo2021>

Twitter https://twitter.com/Todart_labo

公式LINE <https://lin.ee/aUYYL74>

Webサイト <https://todartlabo.wordpress.com>

■紙媒体

市内公共施設(協働推進課へ配架依頼)

公園近隣の児童施設(幼稚園、保育園、学童など)

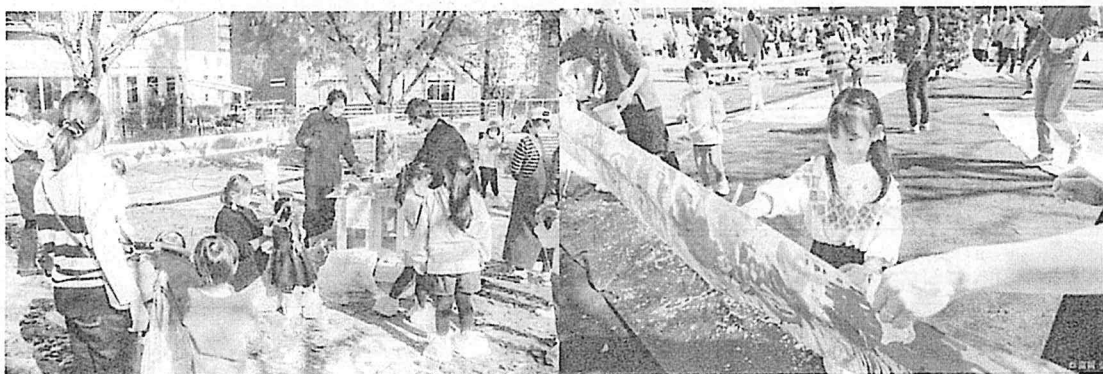
民間施設・店舗

※協賛企業へ配布依頼をいたします

<内容>

・アクションペインティング

木にタイベック紙を張り巡らせ、それをキャンバスにアクションペインティングを行う。また、地べたに養生シートをひき、その上にキャンバスとなる白いシート・紙を広げ、体を動かしながら描く。



・写真アート (新規)

写真でモザイクアート。

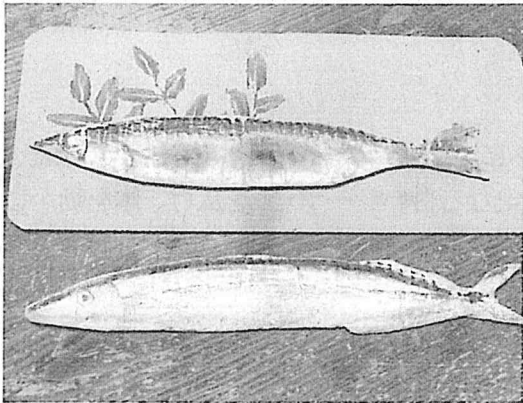
イベントの際に、必要な写真の種類・色を参加者に呼びかけ、それを基に参加者が公園内でスマホで写真撮影をする。

撮影した写真をデジタル上で送ってもらい、モデル写真に当て込んでいき、モザイク写真の完成を目指す。一枚一枚の写真を実際にプリントし、デジタル写真から実際の巨大写真に転換し、最終的に展示する。



・段ボールを素材にした工作作り (新規)

テーマを決めて段ボールでオーナメントの作成。公園へ飾る。



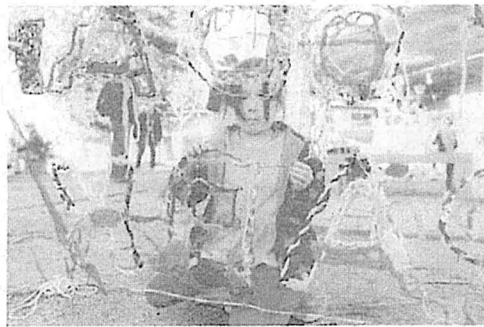
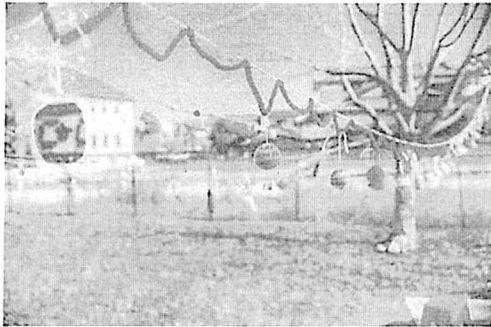
・スタンプでボディペイント (新規)

身体についても安全なキットパスを使って簡単なフェイスペイントを行う。



・編み物アート

編み物をして出来上がった作品を公園内の木に装飾していく。



・音遊び

段ボールカホンや電子ドラムなどの打楽器でリズム遊びをする。音楽を生み出す。



・アースクラッチ

公園の地面の上に、ナスカの地上絵のような、上から見ると絵やメッセージとなるものを水や箸を使って描く。



・車アートのペインティング (他団体・企業との共創)

車にペイントを施す。

車のご提供: 株式会社ナックプランニング



・エコブリックス制作 (他団体・企業との共創)

ペットボトルのなかにプラスチックゴミを詰め込んでブロックのように使う。花壇やベンチに使用可能。SDGsをアートで表現する。

(2022年度 JCI JAPAN グローバルユース国連大使)



・似顔絵 絵画 (賛同いただいているアーティスト)

イラストレーターによる参加者の似顔絵描写を行う。



4 事業の実施体制

トダアートラボが主催となり企画運営を行います。

■当日の運営体制

1回のイベントで30名程度

(会員6名程度、ボランティア・講師・設営等 24名程度)

- 受付・列整備・記録撮影 4名～6名 (会員・ボランティア)
- アートコンテンツ/内容5つ以上 20名 (会員・ボランティア)
- 美術講師 4名 (外部依頼)
- 設営業者 1名 (外部依頼)

5 事業実施のスケジュール

月日	内 容
令和5年5月	公園利用について、みどり公園課及び町会との調整開始
令和5年6月	TODArt.Park VOL.4 周知開始、実施前運営ミーティング開催
令和5年7月末 または8月頭	TODArt.Park VOL.4 開催
令和5年10月	TODArt.Park VOL.5 周知開始、実施前運営ミーティング開催
令和5年11月	TODArt.Park VOL.5 開催
令和6年1月	TODArt.Park VOL.6 周知開始、実施前運営ミーティング開催
令和6年2月	TODArt.Park VOL.6 開催

6 事業の成果目標（具体的数値を用いてください。）

・イベントの参加動員

1回の開催で、50名以上の参加。

・市内芸術家の新規参画予定者

本事業において新たに芸術家3名以上の参画。

・アール・ブリュットを取り入れる。

単に子供向けとするのではなく、多様性を尊重し、子供から大人までの専門的な美術教育を受けていない人も参加しやすい場づくりを行う。

※アール・ブリュットとは、美術用語で、正規の芸術教育を受けていない人が生み出すアートのこと。

・参加者と制作した作品を飾るという「展示会場」の要素を強めていくことに注力する。1回の開催ごとに内容の質を高め、キュレーションに力を入れる。

※美術におけるキュレーションとは、展示の整理、作品の並べ方、空間構成を考えて参加者がより展示を見やすくすること。

7 補助終了後に当該補助金に頼らずに事業を継続していく方法

本事業の1年目（昨年度）の開催を進めていくにあたり、団体名や活動内容について知っていただいた方が増えたので、本年度はさらに本事業を定着していくことに注力し、実施する公園の特性を活かし、また町会や子供会にもご協力いただきながらアートを展開していきます。共感者を増やし、市内企業からの協賛や寄付金をいただきながら活動していきます。アート作品を一方的に見せるだけでなく、市民の方々が作品体験を共有しながらプロジェクトへの参加ができるよう、アートも街も共創していくことを大切にします。

来年度は、参加者の方々と作ったアートを市内の屋内施設での展示会を目指して進めていきます。回を重ねるごとに新しい価値を作り出し、共感者や賛同者を増やしながら丁寧に継続していきます。

《収支予算書》

【収入】

科目		予算額	内訳
補助金・ 助成金	当補助金	160,000	
	その他		
自己資金		69,487	
会費			
利用者負担金		75,000	参加者 500 円×50 名×3 回
協賛金・寄附		60,000	協賛金一口 10,000 円×6 社
その他			
合計		364,487	

【支出】

	科目	予算額	内訳
補助 対象 経費	謝礼金	150,000	講師謝礼(交通費込み) @10,000 4名×3回 =120,000 設営協力者謝礼 @10,000 1名×3回 =30,000
	交通費	7,500	交通費・駐車場代・燃料代 設営協力者 @2,500 1名×3回 =7,500
	消耗品費	108,362	文房具類(ペン、ボンド、ファイル、ケース、 クリップ、封筒、など) 5,000 【イベントに係る費用】 ゴミ袋 大小 @110 ×3×3 =990 ニトリル手袋 @1,300 ×3 =3,900 ウェットティッシュ @220 ×3 =660 ティッシュ @110 ×3 =330 養生・梱包テープ @110 ×3×3 =990 紐 @110 絵の具6色 @7,260 ×3 =21,780 筆・刷毛 @150 ×30 = 4,500 タイベック紙 @9,900 ×2 =19,800 アクリルガッシュ @1,151 ×2 = 2,302 キットパス(クレヨン) @3,010

			ベビーパウダー @350 コットン @180 綿棒 @110 毛糸類 @110 ×15×3 =4,950 【設営に係る費用】 ベトナムシート @9,000 ×2 =18,000 車用マスク @600 ×2×3 =3,600 厚手防災シート @6,000 ×2 =12,000 U字ピン @1,500 ペグ @3,000 インシュロック @1,300
食糧費	19,200		講師・設営協力者 弁当代 @800 ×5名×3回 =12,000 講師・設営協力者・ボランティア 茶代 @100 ×24名×3回 =7,200
印刷製本費	27,225		チラシ等印刷代 @4,350 ×3回 =13,050 【写真アートに係る費用】 L判 @9 ×約1,575枚 =14,175
保険料	4,200		レクリエーション賠償責任保険料 @1,400 ×3回
賃借料	48,000		2tトラックレンタル代 (設営協力者 搬入搬出用) @16,000 ×3回
小計	364,487	内訳	補助金申請額：160,000 自主財源：204,487
補助対象外経費			
小計	0		
合計	364,487		